

上海博物館訪問記

曹 峰

2008年9月8日の午前、日本側の谷中・名和・小寺と中国側の曹峰は、復旦大学文物与博物館学系の呂静先生のご案内によって上海博物館を訪ね、現在、上海博物館蔵戦国楚竹書の整理作業に従事していらっしゃる陳佩芬・濮茅左両先生を訪問しました。

陳・濮両先生はまず私達に『上海博物館蔵戦国楚竹書』第7冊の出版情况进行を紹介しました。第7冊は、『武王踐阼』・『鄭子家喪』・『君人者何必安哉』・『凡物流形』・『吳命』の5篇からなっております。その中の3篇はいずれも甲乙本からなり、甲乙本はそれぞれ残欠しているが、互いに比較しあうことによって、かなり纏まった内容になっていることが認められるとのことでした。

竹簡本『武王踐阼』は今本『禮記』武王踐阼の中間部分がなく、今本にない最後の部分があります。言葉遣いの違いも見られます。

三十数枚に達する『凡物流形』は道家的な傾向が見られる文献で、その内容は伝世文献に見あたらず、文中に「水」に関する内容は見えますが、『太一生水』と異なっています。

第7冊の訳注作業を行った学者は陳佩芬・濮茅左・曹錦炎・周亞・馬今洪の5人です。その出版時期について、濮茅左氏は、1年1冊の予定からいけば、今年の年末までには出版するはずだと仰っていましたが、陳佩芬氏は、よりよいものを作るべき精神に基づくため、第7冊の出版は必ずしも2008年内というわけではないと仰いました。

上博楚簡圖版本の総冊数について、陳佩芬、濮茅左両氏いずれも、全10冊の計画は変わらないが、第10冊目はまとまったテキストではないものが多く、裏表両方に文字がある練習用の竹簡もその中に含めるかもしれないと仰いました。第11冊を出す可能性もあり、その内容は全10冊の索引になります。また、陳・濮両氏は、上海博物館には文字編を編纂する計画があると表明されました。

学界の注目を浴びている『字析』については、濮茅左氏は、『字析』に見える文字は楚国の「書同文」によって作られる標準文字であると考えられるため、楚国の統一字体と見做してよく、また、今までに発見された中国で最も早期の字典でもあると紹介されました。しかし、濮氏は『字析』の字数についてはお話しにならず、また『字析』は出版を予定している上博楚簡全10冊の中には含まれないとはっきり仰いました。このことは、現在計画されている10冊の中には、上博楚簡全ては含まれず、その10冊以外にも、今後新たに出版される内容があり得ることを示唆しています。

時として話題に挙がる上博楚簡の真偽問題について、両氏はいずれも疑う余地はないと断言されました。その理由については、上博楚簡は2度検査を受けたことがあり、その中1度は炭素14年代の測定で、もう1度は竹の内部構造に関する計測で、いずれの検査の結果も偽物ではないとの結論に至ったからというものです。また、内容の分析については、濮氏は以下の例を挙げて説明されました。郭店楚簡『性自命出』が公表された時、上博楚簡『性情論』は既に上海博物館に購入されており、両者の長さは異なるし、

字体も違いますが、互いに並べて比較した結果、上博楚簡『性情論』の内容は郭店楚簡『性自命出』の内容と対応することが判明しました。このことは『性情論』は『性自命出』のコピーではないことを証明することにもなります。もしコピーであれば、その長短・形体・字体は『性自命出』と全く一致するはずだからです。

陳佩芬氏の研究室では上海博物館のご厚意により、既に乾燥処理を終え、ガラスケースに封入された5種類の竹簡を用意していただきました。その中には既に発表された『周易』もありましたし、まだ発表されておらず、竹簡の綴りと編聯に問題があるかもしれないものもありました。私達は自分の目で竹簡の彎曲度、編繩用切り口の形状、竹簡の厚さなどを確認することができ、研究上非常に貴重な機会をいただくことができました。

2008年10月6日

補記

この《訪問記》を発表する時点で、『上海博物館藏戰國楚竹書』第7冊が既に出版されています。そこに掲載される『凡物流形』について、濮茅左氏の話によると次の通りです。その内容は「水」を中心にして、『太一生水』に近いというイメージだったが、実際はそうではなく、『凡物流形』は『老子』、『管子』四篇、『文子』などの文献と密接な関係のある道家的傾向が強い作品であり、「水」に関するところはただ「水火之和」（簡2）、「水之東流，將何盈」（簡10）、「水奚得而清」（簡13B）、「水復於天咸」（簡24-25）4カ所しか見られません。『太一生水』と関連づけられるところは「水復於天咸」（ネット上では、「天一」と「天池」2つの説がでてい）でしょう。『武王踐阼』についても「今本『禮記』武王踐阼の中間部分はなく、今本にない最後の部分がある」とされるが、全体の構造は今本『禮記』のそれとよく似通っているものの、その内容は異なる部分がかなり多いようです。

2009年1月13日